

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

|              |  |
|--------------|--|
| 化学物質等の名称     | スケルカット顆粒水和剤  |
| 製品コード        | AK3103J  |
| 会社名          | アグロ カネショウ株式会社  |
| 住所           | 〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F   |
| 電話番号         | 03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)  |
| 緊急時の電話番号     | 同上   |
| FAX番号        | 03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)  |
| メールアドレス      | <a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a> |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 農薬(殺虫剤)  |

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

|           |                             |        |
|-----------|-----------------------------|--------|
| 物理化学的危険性  |                             |        |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口)                    | 区分外    |
|           | 急性毒性(経皮)                    | 区分外    |
|           | 皮膚腐食性・刺激性                   | 区分外    |
|           | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性             | 区分1    |
|           | 皮膚感作性                       | 区分外    |
|           | 特定標的臓器毒性(反復ばく露)             | 区分2(肺) |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性                   | 区分外    |
|           | 水生環境慢性有害性                   | 区分1    |
|           | ※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」 |        |

#### ラベル要素



|                    |  |
|--------------------|--|
| 注意喚起語              | 危険   |
| 危険有害性情報            | H318 重篤な眼の損傷<br>H373 長期にわたるまたは反復暴露による肺の障害のおそれ<br>H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性 |
| GHS分類に該当しない他の危険有害性 | 有用生物類の蚕、ハチに対しても毒性が強いため、環境生物への影響に注意すること。<br>高濃度の微粉じんとなった場合には、粉じん爆発を起こすおそれ     |

#### 注意書き

【安全対策】  
**P260** 粉じんを吸入しないこと。  
**P280** 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣を着用すること。  
**P273** 環境への放出を避けること。  
 【応急措置】  
**P310** 直ちに医師に連絡すること。  
**P314** 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。

**P305+P351+P338**

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

**P391** 漏出物を回収すること。

**【保管】**

該当なし

**【廃棄】**

**P501** 内容物、容器を都道府県知事/市町村の規則に従って適切に廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

|             |  |
|-------------|--|
| 単一製品・混合物の区別 | 混合物  |
| 成分及び含有量     |  |
| [有効成分]      |  |
| 化学名又は一般名    | (RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル)グアニジン                    |
| 別名          | ジノテフラン   |
| 分子式(分子量)    | C <sub>7</sub> H <sub>14</sub> N <sub>4</sub> O <sub>3</sub> |
| CAS番号:      | 165252-70-0  |
| 官報公示整理番号    | (化審法)(5)-6767  |
| (化審法・安衛法)   | (安衛法)8-(4)-1339  |
| 濃度又は濃度範囲    | 40%  |
| [その他の成分]    | 鉍物質微粉、界面活性剤等(非晶質シリカを約10%含有)60%                               |

**4. 応急措置**

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。                            |
| 目に入った場合   | 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合   | 無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。  |

**5. 火災時の措置**

|             |   |
|-------------|---|
| 消火剤         | 棒状水、霧状水、泡                                     |
| 使ってはならない消火剤 | 粉末、二酸化炭素                                      |
| 特有の危険有害性    | 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。           |
| 特有の消火方法     | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 |
| 消火を行う者の保護   | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。                 |

**6. 漏出時の措置**

|                        |  |
|------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵などを |
|------------------------|--|

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化方法・機材

吸入しないようにする。  
 風上から作業し、風下の人を待避させる。  
 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。  
 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

|     |           |   |
|-----|-----------|---|
| 取扱い | 技術的対策     | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。   |
|     | 局所排気・全体換気 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。   |
|     | 注意事項      | みだりにエアロゾル等が発生しないように取り扱う。  |
|     | 安全取扱い注意事項 | 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。<br>ミストや蒸気を吸入しないこと。<br>眼、皮膚、衣類につけないこと。<br>取り扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 保管  | 保管条件      | 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。<br>施錠して保管する。   |
|     | 容器包装材料    | クラフト加工紙袋、はり合わせアルミはく袋  |

8. ばく露防止及び保護措置

|      |   |   |
|------|---|---|
| 設備対策 |   | 局所排気装置を設置すること。  |
| 管理濃度 |   | 3mg/m <sup>3</sup> (鉱物性粉じんとして)  |
| 許容濃度 | 日本産業衛生学会                                | 第2種粉じん: 吸入性粉じん 1mg/m <sup>3</sup><br>総粉じん 4mg/m <sup>3</sup>  |
| 保護具  | 呼吸器の保護具<br>手の保護具<br>眼の保護具<br>皮膚及び身体の保護具 | 適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。<br>適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。<br>適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。<br>適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。 |
| 衛生対策 |   | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br>取り扱い後はよく手を洗うこと。<br>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。   |

9. 物理的及び化学的性質

|       |    |               |
|-------|----|---------------|
| 物理的状態 | 形状 | 固体(細粒)        |
|       | 色  | 類白色           |
|       | pH | 8.74          |
| 臭い    |    | 僅かな特異臭        |
| 比重    |    | 0.665 (見かけ比重) |

10. 安定性及び反応性

|            |  |
|------------|--|
| 安定性        | 通常の下では安定。                                    |
| 危険有害反応可能性  | 酸化剤等の強酸化性物質と反応する。                            |
| 避けるべき条件    | 加熱、強酸化性物質と反応する。                              |
| 混触危険物質     | 強酸化性物質                                       |
| 危険有害な分解生成物 | 通常の下では生成しない。<br>加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。 |

11. 有害性情報

|      |    |                       |
|------|----|-----------------------|
| 急性毒性 | 経口 | ラットLD50値: >2000 mg/kg |
|      | 経皮 | ラットLD50値: >2000 mg/kg |

|                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 皮膚腐食性・刺激性          | 刺激性なし。                                |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性     | 中等度の刺激性。                              |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性      | 皮膚感受性： 陰性。                            |
| 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） | 区分1（肺）の非晶質シリカが約10%含まれることから、区分2（肺）とした。 |

**12. 環境影響情報**

|           |  |
|-----------|--|
| 水生環境急性有害性 | コイ:LC50値 >1000mg/L (96時間)<br>ミジンコ:LC50値 :590mg/L (48時間)<br>藻類:EC50値 >1000mg/L (72時間) |
| 水生環境慢性有害性 | 区分1であるジノテフランの成分濃度が25%以上であることから区分1とした。  |

**13. 廃棄上の注意**

|          |   |
|----------|---|
| 残余廃棄物    | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。   |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。<br>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |

**14. 輸送上の注意**

|             |                      |   |
|-------------|----------------------|---|
| 国際規制        | 海外規制情報               | IMOの規定に従う。  |
|             | UNNo.                | 3077  |
|             | Proper Shipping Name | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.                   |
|             | Class                | 9   |
|             | Packaging group      | III   |
|             | Marine Pollutant     | yes   |
|             | 航空規制情報               | ICAO/IATAの規定に従う。  |
|             | UNNo.                | 3077  |
|             | Proper Shipping Name | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.                   |
|             | Class                | 9   |
|             | Packaging group      | III   |
| 国内規制        |                      | 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。                                     |
| 特別安全対策      |                      | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。<br>重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 |                      | 171(低、中程度の危険性物質)  |

**15. 適用法令**

|                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 農薬取締法                 | 登録番号 第23370号                  |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) | 該当しない。                        |
| 労働安全衛生法               | 57条の2通知対象物質:<br>シリカ(政令番号:312) |

**16. その他の情報**

公益財団法人 日本中毒情報センター  
 散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
 処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

|        |        |                             |
|--------|--------|-----------------------------|
| 中毒110番 | 一般市民向け | 医療機関専用有料電話<br>(1件につき2,000円) |
|--------|--------|-----------------------------|

|                        |              |              |
|------------------------|--------------|--------------|
| 大阪<br>(365日, 24時間対応)   | 072-727-2499 | 072-726-9923 |
| つくば<br>(365日, 9~21時対応) | 029-852-9999 | 029-851-9999 |

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。